

# 協力隊がゆく

64

初めまして。9月1日に地域おこし協力隊として着任しました、宮崎知也です。

私は大学を卒業し、介護現場で5年働く中で、介護などの労働環境改善

におけるICT(情報通信技術)の可能性を感じていました。「労働環境改善にはこれ

も伝えない！」と思っていたところ、地域おこし協力隊の募集があることを知り、応募させて頂きました。活動テーマは「ICTを活用した医療・介護現場の労働環境改善」と「地域福祉活動の活性化」です。これからの活動を通して医療・介護の現場が働きやすい環境になり、現在医療・介護現場で働く人が「仕事が楽しい」と思えたり、今は別の仕事をしている人で「私も医療や介護の現場で働いてみたい」と思える人が増えたりするようにしていきたいです。

縁あって成羽町に家を建てることとなり、妻と生後10カ月のかわいさ満点の娘と3人で高梁市民になりました。自然豊かな山々の美しい景観と生活のやすさが両立できる環境で生活したいと思っていました私たちに



みやざき かずや 宮崎 知也 隊員

とって、高梁の町並みを知ったときは理想の場所だと感じました。実際に足を運んでみると、人の温かさや笑顔溢れる明るい町に心を惹かれ、私たちは「この場所で一生を過ごしたい」と思い、移住を決意しました。

私の今の1番の趣味は珈琲で、自家焙煎をしたり、豆ごとにハンドドリッパーの方法を変えたりして珈琲沼にハマっています。いつか医療・介護で関わる方々と珈琲を通じて仕事や色々な話ができるコミュニケーションの場を作れたらなあなんて思っています。

地域おこし協力隊員として、高梁をより元気に、そして医療・介護現場で働く方々に少しでも力になれるように精進します。よろしくお願ひします。



コーヒーと白シャツと私

## 地域連携室

地域連携室 倉橋重昭 社会福祉士

皆さんは、当院に「地域連携室」という部署があるをご存知でしょうか。

地域連携室は、今ある社会資源を生かすことができる体制の構築と、医療・介護・福祉の連携を強化することで、治療に関することから各種制度の説明まで幅広く対応できるよう、外来および入院患者のさまざまな相談業務を行っており、看護師1人と社会福祉士1人の2人が配置されています。

「退院した後、家での生活に不安がある」、「退院後にデイサービスを利用したい」、「介護保険制度について教えてほしい」、「入所施設について教えてほしい」

これらは、地域連携室で相談を受けている一例です。どんな相談事でも結構です。患者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活を送っていただけるよう支援をさせていただきますので、お気軽にお声掛けください。

### 地域連携室の業務内容

- 入院、退院の患者支援
- 医療、福祉、介護などの相談
- 他医療機関からの転院支援
- 院内カンファレンスの開催
- レスパイト入院の受け入れ調整
- 地域の医療機関、施設、在宅サービス事業所、訪問看護ステーションなどの連携
- 訪問診療、訪問看護の調整
- 外来・病棟スタッフとの連携
- 「連携通信なりわ」(年12回)、「成羽病院だより」(年4回)の発行 など



## 成羽病院通信

105

成羽病院 ☎ 42-3111